

第23 動力消防ポンプ設備

動力消防ポンプ設備は、屋内消火栓設備又は屋外消火栓設備と比較して、使用方法が複雑であるため、訓練等により操作に習熟した従業員等が常駐できる施設に限って設置することが望ましい。

1 設置場所

動力消防ポンプ(消防ポンプ自動車又は自動車によって牽引されるものを除く。)の設置場所は、次によること。

- (1) 設置する水源ごとに当該水源の直近又は容易に接近できる場所とすること。
- (2) 雨水等の影響を受けるおそれのない場所又は同等以上の措置をした場所に設置すること。

2 水源

第2屋内消火栓設備1((3)を除く。)に準ずるほか、地盤面より下に設けられる水源の有効水量は、次によること。

- (1) 地盤面から落差5m未満の場合は、水源の下端から0.5m以内の部分は有効水量に含めない。
- (2) 地盤面から落差5m以上ある場合は、落差4.5m以内の部分を有効水量とする。
- (3) 吸管投入孔を設ける場合は、直径60cmの円が内接することができる大きさ以上とすること。

3 性能

令第20条第3項に規定する放水量は、「動力消防ポンプの技術上の規格を定める省令」(昭和61年自治省令第24号)第21条の別表(下表参照)に定める規格放水性能における規格放水量とすること。

ポンプの級別	放水性能			
	規格放水性能		高圧放水性能	
	規格放水圧力 (MPa)	規格放水量 (m <sup>3</sup> /分)	高圧放水圧力 (MPa)	高圧放水量 (m <sup>3</sup> /分)
A-1	0.85	2.8以上	1.4(直列並列切替型のポンプは1.7)	2.0(直列並列切替型のポンプは1.4)
A-2	0.85	2.0以上	1.4(直列並列切替型のポンプは1.7)	1.4(直列並列切替型のポンプは1.0)
B-1	0.85	1.5以上	1.4	0.9以上
B-2	0.7	1.0以上	1.0	0.6以上
B-3	0.55	0.5以上	0.8	0.25以上
C-1	0.5	0.35以上	0.7	0.18以上
C-2	0.4	0.2以上	0.55	0.1以上
D-1	0.3	0.13以上	—	—
D-2	0.25	0.05以上	—	—

注：令第20条第1項第1号に掲げる防火対象物又はその部分に設置するものは、上記表中の規格放水量が0.2m<sup>3</sup>/分以上のポンプ(C-2級以上)、同条同項第2号に掲げる建築物に設置するものは、上記表中の規格放水量が0.5m<sup>3</sup>/分以上のポンプ(B-3級以上)とすること。

4 器具

- (1) 吸管は、前記2の水源水量を有効に採水できる長さ及び構造のものとする。
- (2) ホースは、動力消防ポンプの規格放水量に基づき、令第20条第4項第1号の規定によりその有効範囲となる部分に、有効に放水できる本数(20mホース5本以上)を設けること。

5 表示

- (1) 動力消防ポンプを収納する部分には、「動力消防ポンプ常置場所」と表示する

こと。

(2) 水源の付近には次の表示をすること。

ア 「動力消防ポンプ用水源」である旨を見やすい位置に、かつ容易に判別できる文字で表示すること。

イ 2(3)の吸管投入孔を設ける場合は、吸管投入孔の蓋に「吸管投入孔」の表示をすること。